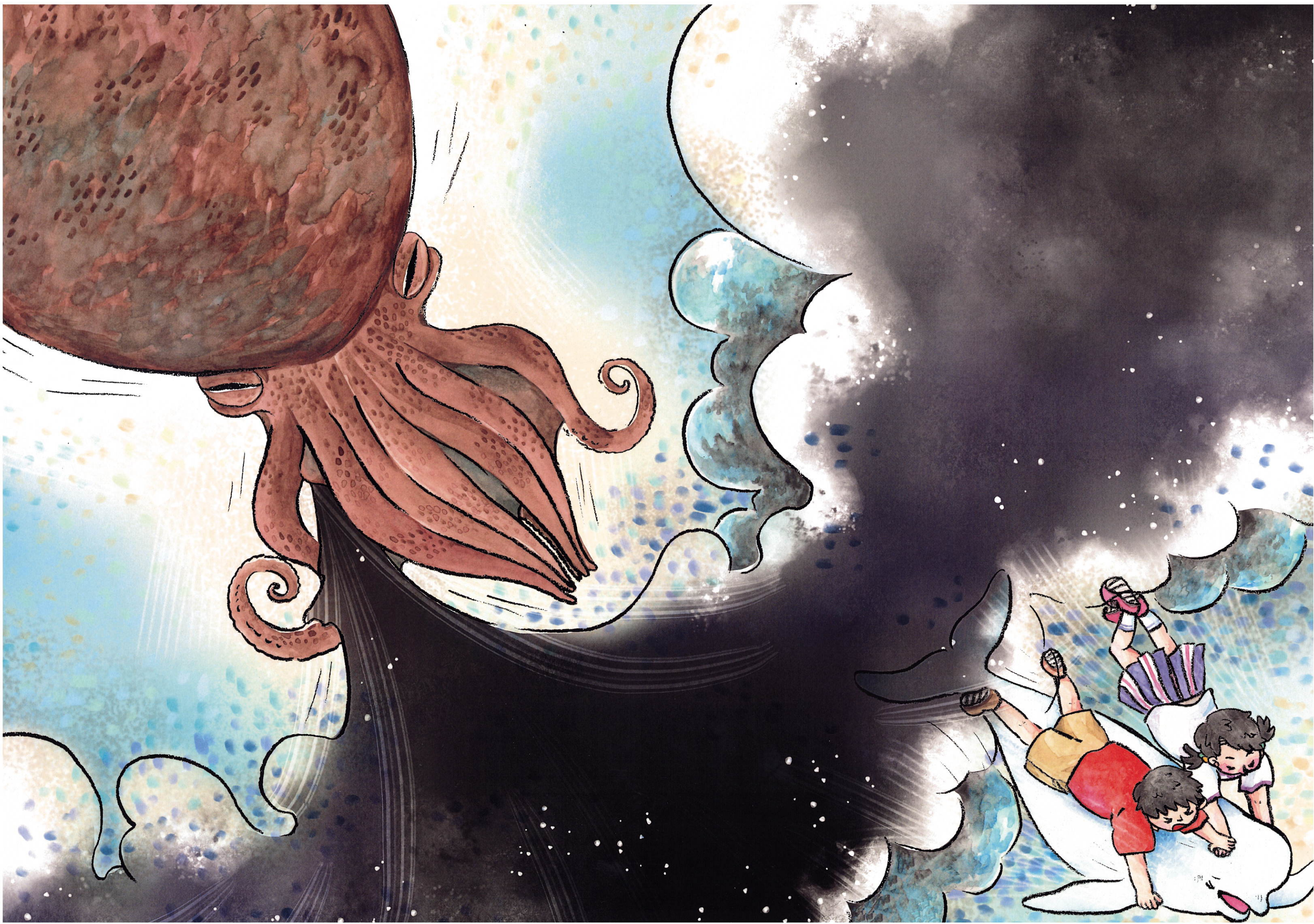
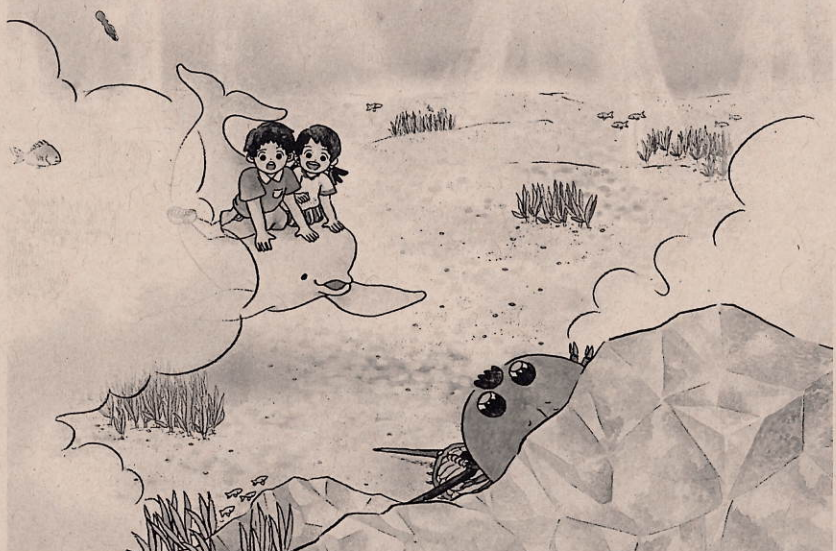




場面 6



ファサアー

かいていの すなが まいあがり、
おおきな おおきな こうらを みにつけた
かいじゅうのような いきものが
あらわれました。

(たつくん) 「あれは なんだ？」

(ゆみちゃん) 「こわいわ。」

こわくなった たつくんと ゆみちゃんは、
ぶるぶると ふるえています。

(カブトガニ)

「おや、スナメリ、あたらしい おきやくさんを
つれてきたのか？」

(スナメリ) 「そうメリ。カブトガニさん。」

ゆみちゃんは、ずかんで みた いきものを
おもいだしました

(ゆみちゃん)

「カブトガニって、わたし、きいたことが
あるわ。」

(スナメリ)

「カブトガニさんは、とおくとおく むかしから
ここにすむ、
アマモの もりの ちようろうメリ。」

カブトガニが うなずきました。

(カブトガニ) 「そのとおりじゃ」

ぬく

△ 演じ方 △

カブトガニを
指さしても良い

驚き、怯えながら

カブトガニの台詞は
他の登場人物より
ゆっくりと読む

頷きながら読む